

脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報は、特定の個人を識別不可な情報へ変更（匿名化）いたします。

匿名化する前に参加拒否の申し出があった場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

| | |
|-------------------------|--|
| 研究課題名 | 脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明 |
| 倫理審査 受付番号 | 第3816号 |
| 研究期間 | 2021年 6月倫理審査承認日～2023年 3月31日 |
| 研究対象情報 の取得期間 | 下記の期間に脳神経外科を受診された脊髄髄内腫瘍の方 2009年 4月 1日～2020年 3月31日 |
| 研究に用いる 試料・情報 | カルテ情報 |
| 研究概要 | (研究目的、意義) 脊髄髄内腫瘍は、治療リスクが不明です。そこで本研究では、本疾患の予後規定因子を確立し、最適な治療方法の確立を目的とします。 |

(研究の方法)

2009年4月1日より2019年3月31日までに確定診断された脊髄髄内腫瘍を対象とします。本学で診断された15例のデータ患者背景情報臨床学的検討：年齢・性別・合併症（既往歴）・内服薬・発症形式・発症年月日・初診年月日・初診時神経学的所見・画像所見・入院年月日・手術年月日・手術所見・治療内容・入院時臨床経過・退院年月日・退院時所見・外来経過・最終予後につき基幹施設の東北大学に提供し、基幹施設により、治療不成功のリスク因子、神経学的転帰不良のリスク因子を抽出します。鑑別に必要な画像所見、手術術摘出率、術後治療法の選択と再発率の解析も行います。

(外部への試料・情報の提供)

本学のデータは研究機関施設である東北大学に提供します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

(研究組織)

日本脊髄外科学会公認の研究であり、代表機関を東北大学とします。

(個人情報の取り扱いについて)

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 脳神経外科
陰山 博人（研究責任者）

TEL | （平日 8 : 30～16 : 45） 0798-45-6458
（上記時間外） 0798-45-6111